

◆「UNHCRの教育支援」パネルセット(22枚1組)

- ・文字、写真パネルをあわせ22枚が一組で、ラミネート加工されています。

サイズ: No.0が850×300mm

No.1～16が600×425mm

No.1'～5'が425×300mm (小サイズ)

- ・貸し出し希望期間、使用目的、主催者を必ずご連絡ください。
(ご要望が多いため、2か月前にはお申し込みください。)

※画像の写真の無断転載は禁止しております。

※サンプルは容量の問題により画質を落としております。

“No.0 表題「UNHCRの教育支援」”

UNHCRの 教育支援

“No.1 全難民のうち18歳未満の子どもは51%を占めていることの説明”



51%

全難民のうち、18歳未満の子どもは
51%を占めています。

“No.2 子どもたちがイラク・モスルの戦闘を懸命に逃れている様子”



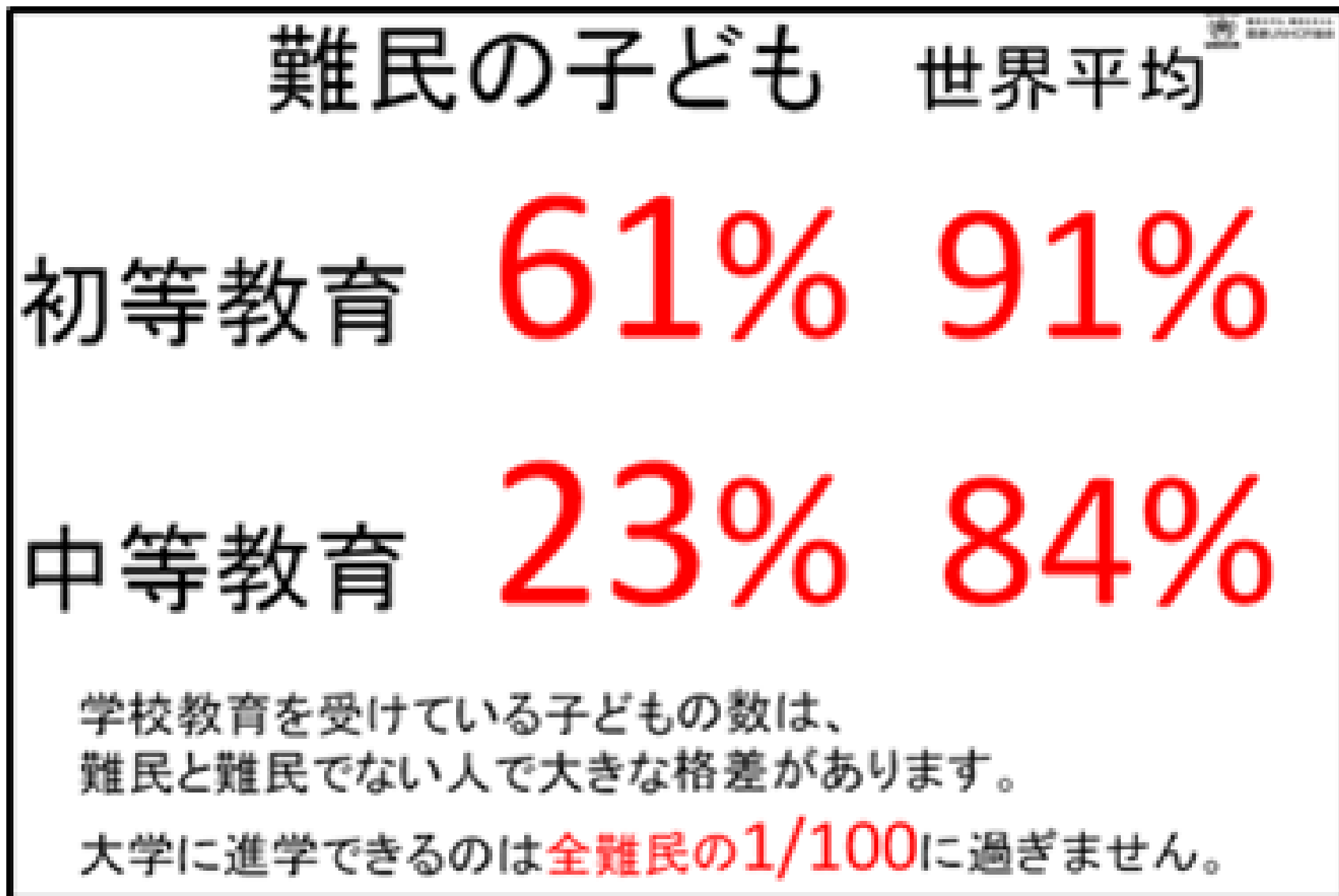
<子どもたちも、イラク・モスルの戦闘を懸命に逃れています>

“No.3 ウガンダの学校で南スーダン難民の生徒たちが勉強する様子”



<ウガンダの学校で勉強する、南スーダン難民の生徒たち>

“No.4 難民の子どもの就学率についての説明”



“No.5 難民の2/3の人々が20年以上も難民の状態を強いられることの説明”

20年

難民の2/3の人々は20年以上も
難民という状態のまま生活することを強いられます。

“No.6 中央アフリカから逃れて、コンゴ民主共和国で暮らす子どもたちの様子”

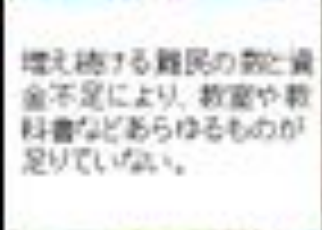


“No.7 エチオピアにある難民キャンプ訪問時の様子1 ～教育物資の不足と小学生の夢について”

ガンベラ地方(エチオピア)にある 難民キャンプの小学校にて



ここでは紛争中の南スーダンから逃げてきた多くの難民の子どもたちが学んでいる。



増え続ける難民の数と資金不足により、教室や教科書などあらゆるものが足りていない。



カメラを向けると、無邪気に笑顔で集まってくる子ども達。彼らが再び戦地に陥らなくてもよい未来をつくらなければならない。

将来の夢を尋ねると、多くの難民の子どもたちは、「医者！」「学校の先生！」と元気よく答えてくれました。これは、彼らの身近にいる大人を目標にしているという側面と、夢が限定されてしまうという側面があります。彼らにとっての「世界」は、戦争をしている南スーダン国内と難民キャンプの中だけで、非常に狭い世界に押し込められています。彼らがいろいろな未来を夢見て、その夢をかなえられるように、難民の子どもたちへの教育支援は大切な役割を担っていると感じました。

天沼耕平 国連UNHCR協会職員

2017年5月、エチオピアのガンベラ地方にある難民キャンプを訪問。キャンプ内では、子ども達だけでなく、教職員やPIAスタッフとも交流を持つ。



“No.8 エチオピアにある難民キャンプ訪問時の様子2 ～中等教育の現状について”

彼らは、南スーダン国内で、かなり過酷な体験をして、このキャンプに逃げてきましたが、非常に前向きに未来について話してくれました。

中等学校の生徒のほとんどは、午前中、仕事や子育てをして、午後、勉学に励みます。医者や看護師を目指していますが、その夢にたどり着くための大学進学はかなり狭き門なのです。

それでも彼らは懸命に学びます。

そして、もう一つ印象的だったのが、教育現場を支える教員やPTAといった周囲の大人の熱意です。

過酷な状況だからこそ、未来を創る教育の重要性を強く感じていると思いました。



ガンベラ地方(エチオピア)にある 難民キャンプの中等学校にて



上の写真に写っているのは、授業の合間を縫ってインタビューに答えてくれた中等学校の生徒のみなさん。
エチオピアの教育制度が運用されているので、初等教育が1～6年生、次の3年間が中等教育となっている。
ちなみに右上と左下に写っているのはカウンセラーの先生で、右下に写っているのが校長先生で、エチオピア国内から派遣されている。



難民の子どもたちへの 教育の意義

安全な場所における学校教育は、

• 将来の職業獲得や自信の向上

だけではなく、

• 搾取・薬害・幼児婚・早期妊娠から

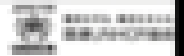
子どもたちを守る。

“No.10 紛争の中でもしっかりと勉強に励むシリアの生徒たちの様子”



<紛争の中でもしっかりと勉強に励むシリアの生徒たち>

“No.11 庇護国における社会統合を進めていく視点からの教育の重要性の説明”



難民問題の解決の一つとして、

庇護国における**社会統合**を進めていくために

①（教育の価値を高めるためにも、）

難民が**受入国のもとで教育を受けること**

② 難民のための**教師や教育の質を整えること**

が重要になっている。

“No.12 UNHCRの教育支援の多角的なアプローチについての説明”

UNHCRの教育支援

UNHCRはすべての難民・避難民の子どもに教育を提供するために、多角的なアプローチで教育支援に取り組んでいます。



「教科書もノートも、何も持たずに通ってきた」
 教科書や学用品、制服、靴など
 通学に必要な物の支給



トルコの難民キャンプの学校で学ぶ子どもたち

「学校は空手で破壊され、避難したあとも学校がない」

学習環境の整備

学校や教室の建設・修繕、机や椅子の支給、手洗い場やトイレの整備など



「授業料や通学費が払えず、学校をあきらめた」

家庭への経済的支援・啓発活動

無償での授業料の提供、通学や試験費用の援助、奨学金プログラム、家庭訪問による通学の働きかけ

すべての
難民の
子どもに
教育を!

「紛争の影響を受けたり子どもたちへの対応が難しい、授業が滞り立っている」

質の高い教師の確保・養成

教員の研修（特別なケアが必要な生徒へのサポート）、各教科の指導法、保健・栄養関連などの、様々な援助

「もう二年も学校に行けておらず、勉強についていけない」

子どもの学習の遅れを取り戻す支援

補習授業、避難先の公民館等のサポート



「空手で通がいやしい、通学できない」

特別なニーズのある子どもへの支援

学習教材や新しい靴の支給、靴が壊れた際の修理、トコワザを教えた子どもへのカウンセリングなど

“No.13 教育支援の具体例1～レバノンにおけるレゴブロックの取組 (https://www.japanforunhcr.org/archives/1916/)”



＜レバノンにいるシリアの子ども達の自信を育てるレゴブロック＞

2011年にシリア危機が勃発してから、シリアの多くの子どもたちが、家族と引き離されました。

彼らは子どもらしさを認めなくてはならなかったのです。

UNHCRの取組み

そうした子ども達に、UNHCRはレゴ財団資金提供のもとレゴプロジェクトを行っています。

これは特にトラウマになるような状況を経験したために話すことに困難を抱えている子ども達に触れる重要な手段です。

演習を通じてこが自分の感情を表現することができ、一人で過ごすことが多かった子が、自信を持ち協力的で進んで人を助けることができるようになります。

UNHCRは、

心の傷を回復し、友達を作り、教育を受ける喜びを再発見し、遊ぶことができる場

をつくっています。

“No.14 教育支援の具体例2～中央アメリカにおける子どもの現状 (http://www.japanforunhcr.org/archives/13549)”

＜中央アメリカの若者たち＞

残忍なストリートギャングは、中央アメリカ北部の地域の人々を脅迫し続けています。配下にならないと命を狙われるため、家族から離れなくてはならない子ども達の数は2011年から毎年2倍ずつ増えています。女子は性的対象に、男子は歩兵として配下におかれるといわれています。もはや無視できない沈黙の危機となっています。



←「逃げなければならぬ！中央アメリカの子どもたち」

↓→「見捨てられ、逃走中の若者たち」
＜UNHCR法務官と話すモイセスとアンダーソンとジャイロ＞



UNHCRの取り組み

- 全ての人々が避難できる場所があるようにするため、資金援助を呼びかけています（Children on the Runキャンペーン）。
- 彼らに難民申請の機会を提供し、少しでも安全な場所の提供と、教育、医療、精神的な支援を行っています。



“No.15 教育支援の具体例3～イエメンにおける支援”

(<https://www.japanforunhcr.org/archives/13305>)”

＜学校にとどまるために
爆弾や銃弾に勇敢に向き合う
イエメンの子どもたち＞

イエメンでの2年間の紛争で、200万人の子ども達が学校に通えません。

UNHCRの取り組み

☆難民とイエメン人の教育ニーズに対応するために、難民と避難してきた子どもたちが集中している受け入れ地域にある学校を支援し、教材を提供しています。

内容:

- 子どもの保護
- 避難と心理的な問題への対処に関する教師・管理者・ソーシャルワーカーのトレーニング
- 早期子ども発達プログラム
- インフォーマル教育
- 制服やスクールバック
- 学校用品の提供 など

—被害を受け荒廃した学校へ—

- 修復
- ソーラーパネルの設置
- 必要な教育設備や教材の提供 など

(例)教科書30万冊をイエメンの20か所の公立学校に提供



“No.16 みなさんのご支援でできることの例”



私たちに何ができるだろう...?
例えば、募金だったら...

- 784円=ケニアの難民キャンプの子どもの**教科書**1冊
- 1,120円=南スーダンの**教師マニュアル**1冊
- 1,792円=イエメン、エチオピア、ルワンダ、イラン、パキスタンの**制服**1着
- 2,240円=イランで難民の家族が**生活費**を払って、子どもが家族を助けるために学校を選学する必要がなくなる
- 2,352円=ルワンダで一人の子どもが学校に通い始めるための**制服、練習帳、ペン**
- 6,944円=パキスタンで子どもが**先生のもと、教材**を学び、**図書館**に行けるようになる
- 11,200円=エジプトでシリア難民一家が1人の子どもを**学校**に通わせられるようになる
- 12,880円=スーダンで難民の子ども一人の**教育費**1年分

みなさまの
ご支援をお願いします。

“小サイズNo.1’ 南スーダンにて、トラックで避難する 順番を待つ少年の様子”



＜南スーダンにて、トラックで避難する順番を待つ少年＞

“小サイズNo.2’ コンゴ民主共和国のモレ難民キャンプにて学ぶ生徒たちの様子”



＜コンゴ民主共和国のモレ難民キャンプにて学ぶ生徒たち＞

“小サイズNo.3’ イラクの避難民キャンプで生活する家族の様子”



＜イラクの避難民キャンプで生活する家族＞

“小サイズNo.4’ シリアからドイツへ。喜ぶアブドゥくん
の様子”



<シリアからドイツへ、喜ぶアブドゥくん>

“小サイズNo.5’ フィリピンにてソーラーランタンで宿題をしている様子”



＜フィリピンにてソーラーランタンで宿題をしている＞